

森のおくりもの11月



きのこぼうや



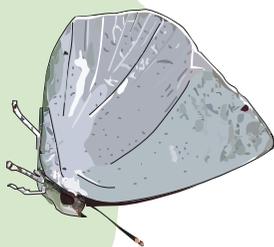
写真：黒川周子（レンジャー）

自然観察の森は、着実に秋が深まり、間もなく冬の新たな装いへと変化する気配すら感じられる時期となってきました。短い森の晩秋を、ひんやりと澄みきった青空のもと、移りかわる森の色彩を存分にお楽しみいただければと願いつつ、皆様のご来園をお待ちしております。（館長 菊池正行）

# 銀色に輝く翅をもつ 『ウラギンシジミ』



## 寒いのが苦手なチョウ



【大きさ:2~2.7cm】

11月になると、玄関のポーチで日向ぼっこをしたり、吸水にきているウラギンシジミを見かけるようになります。シジミチョウとは思えない大きさです。成虫で冬を越しますが、厳しい寒さに耐えられず、死んでしまうものもあります。生き延びたわずかな蝶が春先に産卵し、さらにその2代目が夏に産卵して、初秋の頃にでてきた3代目が、そのまま冬を越すことになるのです。

翅を閉じていると銀色一色なのですが、目が大きくて、脚にも模様がついていて、よく見ると、ちょっとおしゃれな感じがする蝶です。アンテナの先が黄色いのもかわいいですよ。



幼虫



ナメクジのような形をしている幼虫はクズやハギなどの花・蕾を食べます。触ると2本の突起からヒラヒラしたものが出来ます。花と同じ色なので、見つけるのが難しい！

蛹



グミを思わせるとてもきれいな蛹！

翅を開くとオスメスが分かります。常緑の葉の裏や、落ち葉の下や、樹木の幹にとまって越冬しますが、見つけるのは容易ではありません。今年はいったいどこで越冬するのでしょうか。数年前までは、そんなに見られなかったウラギンシジミ、温暖化の影響でしょうか、最近は毎年この時期になると必ず見られるものとなってきました。

【レンジャー:黒川周子】

\* 吸水・・・以前まで、金属イオンを摂取するためと思われていましたが、アンモニウムイオンを摂取するために、吸水していることが明らかになりました。

# 11月の生物ごよみ

## 野鳥

	10月		11月		12月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
アオジ					
カシラダカ					
ジョウビタキ					
ルリビタキ					
キクイタダキ					
ミソサザイ					
シメ					
ベニマシコ					

今年の冬鳥の一番手となったのはカシラダカ（10月18日）。毎年、一番手としてやってくるジョウビタキは、昨年と比べ三週間遅れの今朝（11月2日）、やっと確認することが出来ました。目の前にとまったので写真を撮ろうと急いでカメラを向けようとしたら、アッと言う間に飛び立ってしまいました。残念！！

ほかにもこれからたくさんの冬鳥たちがやってきます。秋が深まり、葉っぱが落ちる冬にかけ、野鳥たちが見やすい季節になってきますので是非この機会、バードウォッチングを始めてみてはいかがでしょうか。センターでは双眼鏡の無料貸出しもしています。スタッフにお気軽にお声かけください。（身分証明書の提示が必要。数量に限りあり）

12月からはセンター裏庭にバードテーブルを開設します。暖かい部屋からたくさんの小鳥たちの集まる様子をゆっくり観察してみることで、外とは違う楽しさが味わえることでしょう。

これからも続々と冬鳥たちがやってくると思うのですが、今年は全体的に遅れているようです。

10月26日（土）開催予定をしていたイベント「太白山の秋を訪ねて」は台風27号の影響により中止になりました。太白山登山のイベントは春と秋に年二回計画しています。来年の春までお待ちください。

【レンジャー：齋 正宏】

# レンジャー 花 木もれび BLOG



略してコモブロ 第18回『過ぎ去りし夏』

日中でも冷え込みがきびしくなり、いよいよ秋も大詰めとなってきました。…あの暑かった夏がだいぶ昔のことのようです。

夏が過ぎるとほっとすることがあります。それは、あの多種多様な昆虫たちから解放されることです。

利用者みなさんから、よく「レンジャーは何でも知っているんですねえ」と感心されることがありますが、実は私は昆虫があまり得意ではなく、大量の昆虫の名前を覚えることができません。

なので、大勢の子供たちから「この虫、何い〜？」と質問されることがとてもつらかったのです。むしろ子供たちから名前を覚えてもらうほうが多くなっていました。なので、少しほっとしています。

子供と昆虫といえば、この夏に面白い発見？がありました。毎週のように森に来てくれた昆虫好きの少年たちの名前が全員「〇〇ト」だったのです。たまたま「〇〇ト」という名前をつけるのが流行していたのですが、昆虫を追いかけて元気に走り回る彼らの名前が似ていたのは何か不思議な面白さがありました。



## イベント報告



10月19日（土）秋の気配が漂う自然観察の森で「きのこ観察会」が開催されました。

定員いっぱいの20名が集まり、あるキノコとよく似た毒キノコを識別するポイントの解説には、みなさんかなり真剣に聞き入っていました。

前日に下見を行った際には、天候のせいでキノコがほとんど見つからず開催が危ぶまれましたが一晩で伸びたキノコや大勢の目で探したこともあり、当日はたくさんのキノコが見つかりました。講師は「仙台キノコの会」の須川さんが務めて下さり、深い知識と巧みな話術で参加者の方も大満足で終了することができました。

【レンジャー：高橋千尋】

## ナラタケモドキは害菌？それとも。。。

秋の季節には、やはりキノコについてのお話ははずすことができないように思いますが、皆様はいかがでしょう。昨年の秋には、園内のあちらこちらにたくさん発生したクリフウセンタケやサクラシメジは、今年はまったくと言っていいほど見られませんでした。その代わりというのもなんですが、今年はナラタケモドキが、例年に比較したくさん発生しておりました。特に、散策路の両側の立ち枯れの木に多く見ることができました。このナラタケモドキは、もともと食べられるキノコとされてきたのですが、消化が悪く、食べ過ぎなどにより消化器系の中毒を起こすことが昔から知られております。

また、森の中では、このナラタケモドキは枯れ木を腐食分解し、森の循環の一端を担っております。しかしながら、林業の分野では、ナラタケと同様に害菌とされております。つまり、ナラタケモドキは、「ならたけもどき病」の原因菌となっているからです。したがって、腐食や分解に役に立っていると言うよりも先に、森の生木にとりつき枯死させてしまう病原菌といったほうが適切かもしれません。サ



【立ち枯れに生えたナラタケモドキ】

クラ、モモ、クリなどの広葉樹のほか針葉樹の一部にも寄生し、ナラタケと同様に根腐病を引き起こし、最終的には木を枯死させてしまいます。さて、ここ自然観察の森でもナラタケモドキは害菌なののでしょうか？答えは、非常に微妙です。実は、ナラタケモドキは、ナラタケと同様にオニノヤガラやツチアケビにとって重要な栄養源となっていることが最近報告されております。ナラタケモドキにかぎらず、このように地中のキノコの菌糸から栄養を摂取し成育している植物は、ランの仲間をはじめたくさん存在していることが知られており、自然観察の森でも多くの種類を観察することができます。さらに、木の中のキノコの菌糸は、クワガタムシの幼虫の餌となっており、森の昆虫との重要な関係も存在しております。このように、森の動植物とキノコとは、有機的な関連性を保ちながら、森林の自然環境のバランスの一翼を担っているものと考えられます。したがって、いろいろな生物のつながりを崩さないようにするためにも、自然観察の森の園内では、動植物と同様に、キノコについても採取禁止とさせていただいております。また、花がほとんど終わったこの季節では、キノコは貴重な観察対象ともなっておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

【館長：菊池正行】



# 11月のイベント&お知らせ



●11月16日(土) 10:00～15:00

## 『紅葉の鈎取山ハイク』

紅葉の鈎取山原生林を自然観察しながらハイキングします。

【対象】自然に興味のある方 先着20名  
【持ち物】長袖長ズボン、昼食、雨具など  
【料金】無料  
【申込み】11月6日(水)9時から電話にて受付開始

●11月23日(祝) 10:00～12:00

## 落ち葉アート体験

### 『葉っぱ描いて色あそび』

日本画家の指導で、落ち葉を使った簡単な作品をつくりま

【対象】自然に興味のある方 先着20名  
【持ち物】森を散策できる服装など  
【料金】200円  
【申込み】11月9日(土)9時から電話受付開始



●12月4日(水) 9:30～12:00

## ご近所観察会

### 『冬のカモたちにメリークリスマス』

旗立緑地や旗立ため池で冬の森やカモ類を観察します。

【対象】自然に興味のある方 先着20名  
【持ち物】長袖長ズボン、あれば双眼鏡  
【料金】無料  
【申込み】11月12日(火)9時から電話にて受付開始

毎週  
日曜は

## 『ガイドウォーク』の日!

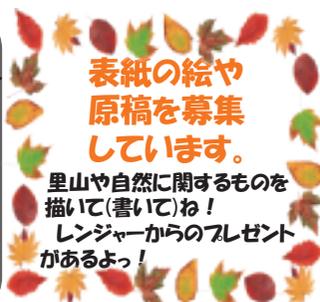
11月の開催日は

3日, 10日, 17日, 24日

午前の部10:00～11:30 午後の部13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

24日の午後は館長によるガイドウォーク「館長と森を歩こう」です(日付が変更になる場合もございます)。



イベント申込用



11月の休館日

5日, 11日, 18日, 25日

## ♪森へおいでください♪



### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」バックナンバーがご覧になれます。

### 『太白山 森のおくりもの』で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年11月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)